

# 第14回（2017年度）協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業等の活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

こばやし ひでひこ  
小林 秀彦 氏（埼玉大学）

## 行事企画運営・交流促進による関東支部の発展への長年にわたる貢献



小林秀彦氏は、1995年度から日本セラミックス協会関東支部の常任幹事会（役員会）のメンバーとなり、支部長をはじめ、各種委員を歴任した。その期間は20年以上の長年にわたり、現在に至るまで支部の発展に尽力された。1995～1996年度は、庶務会務（事務局）を担当し、三田村支部長（当時、埼玉大学教授）とともに支部活動の企画運営を推進した。1997年度からは、支部総会、秋季教室、および見学会等を担当した。2004年度および2013年度には、埼玉地区にて関東支部研究発表会を主催し、関東支部の学生会員に研鑽の場を提供した。また、秋季教室委員を長年担当し、埼玉地区にて教室を開き、学生に向けたセラミックスの啓発活動にも貢献した。

2007年度および2008年度には、関東支部の支部長となり、支部運営の見直し・改善を積極的に図り、日本セラミックス協会の最大会員数を誇る関東支部の活動を推進した。見学会では、埼玉地区にある多くの企業と支部会員との交流を積極的に図り、支部会員と企業との橋渡し役として多大な貢献をした。以上の活動により協会の行事企画運営・交流促進による関東支部の発展に長年にわたって大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1979年 埼玉大学大学院工学研究科修士課程修了。1979年 埼玉大学助手（工学部）、1994年 同大学助教授（工学部）、1999年 同大学教授（工学部）。

むかいだ まさかず  
向田 雅一 氏（産業技術総合研究所）

## 出版による日本セラミックス協会の事業普及への貢献



日本セラミックス協会は、産学官より、材料的には無機から有機まで、学術的には物理、化学、医療等、対象としては鉱物、電子、土木、工芸等、さまざまな分野の会員で構成されるため、他分野の情報を会員に伝えていくことが、協会の重要な責務である。また、特定分野の専門的知識および情報を深く知りたいという会員の要望にも応えていかなければならない。そのため、研究成果の発表にかかわる事業のみならず、情報発信の一形態としての出版活動は、協会の主要な事業となっている。

向田雅一氏は、20年にわたり出版委員（WGメンバーを含む）、ならびに出版委員長として、協会出版物の企画と編集に尽力した。任期前半は、主に学術団体に望まれる専門知識を網羅的に記載した辞書等の作製事業に携わった。後半には、会員減少が顕在化してきた期間でもあったため、会員増加の方策として、出版を通じた協会の知名度向上、セラミックスの魅力発信、次世代への啓発を目指し、書店に並ぶシリーズ本の製作や出版社に企画を持ち込み協会費を費やさず出版に成功した。以上の活動により協会の出版による事業普及に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1990年 東北大学大学院工学研究科博士課程修了。同年 工業技術院化学技術研究所研究官、1993年 物質工学工業技術研究所主任研究員、2001年（独）産業技術総合研究所主任研究員（2015年 国立研究開発法人へ移行）、現在に至る。工学博士。